

会 議 録

| | | |
|----------|---|----------------------|
| 会議名称 | 令和7年度第2回大空町社会教育委員の会議 | |
| 開催日時 | 令和8年3月16日(月) | 18時30分から 20時30分まで |
| 開催場所 | 女満別研修会館 大会議室 | |
| 出席者の氏名 | (出席委員) ※敬称略 大西篤、今岡寛、佐藤拓也、大辻雄介、豊島孝一、原本直也 大井徹也、旭利正、長尾美和、植松あゆみ、竹次康人、後藤満晴 竹内大輔 (教育委員会) 関谷教育長、歌丸参事、阿部主査、松本主事、宮下主事 | |
| 傍聴者の数 | — | |
| 会議資料の名称 | 資料1：令和7年度大空町社会教育推進計画(単年度) 資料2：令和8年度大空町教育推進方針(案) 資料3：令和8年度大空町社会教育推進計画(単年度) 資料4：社会教育関連予算主要施策概要 資料5：社会教育委員研修会・管内社会教育振興セミナーについて | |
| 審議内容及び結果 | (1) 教育長あいさつ (2) 委員長あいさつ (3) 議案 ① 令和7年度大空町社会教育推進計画(評価)について 歌丸参事説明→承認 ② 令和8年度社会教育推進方針案について | |

| | |
|--|---|
| | <p style="text-align: center;">歌丸参事説明→承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 概要: 第3次大空町教育推進計画の実現と大空町教育行政執行方針の具現化を目指し、前年度からの変更点を中心に重点施策を策定する。 ● 主な変更点と重点施策: <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事業: 令和8年度は2年目として、4つのスポーツ体験教室や講演会を実施し、スポーツを楽しむ環境づくりと幼児期からの体力向上を図る。 ・部活動の地域展開: 表現を「可能性を探る」から「地域に根ざした持続可能な地域活動を目指す」に修正。町立学校体育文化振興補助金の対象に地域クラブを追加し、「部活動あり方推進事業」と「地域クラブ活動支援事業」を新設。 ・女満別湿生植物群落保全事業: 国の補助を受け、湿生群落の水位調整のため排水管設置工事を予定し、保全活動を重点的に進める。 ・バレーボール大会: 目的を競技力向上から普及啓発優先に変更。 ・大空高校女満別キャンパスの活用: 社会教育施設「大空町社会教育センター」としてリニューアルし、社会教育事務所の移転や郷土資料の集約を検討。 <p>③ 令和8年度社会教育関連予算の概要について</p> <p style="text-align: center;">歌丸参事説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体予算: 総額3億9,230万円（前年度比3,539万7千円増）。 ・主な増減: <ul style="list-style-type: none"> ・減額: 図書館システム更新完了（-318万円）、武道館屋根改修完了（-1,289万円）、B&G海洋センタープール改修完了 |
|--|---|

(-5,444万円) など。

- ・増額: 大空高校女満別キャンパス改修経費として1億677万円を新規計上。
- ・予算の移管: 「町立学校体育文化振興補助金」など3事業が学校教育グループから社会教育グループへ移管された。
- ・予算編成への提言: 突発的なニーズに対応できるよう、今後の社会教育予算にある程度の「余白」や柔軟性を持たせるべきとの提言(大辻委員)があり、今後の制度設計を検討(教育文化合宿事業、元気づくり応援事業の見直しの観点から)すると回答。

④ 令和8年度大空町社会教育推進計画(案)について

歌丸参事説明→承認

主要事業と課題に関する意見交換

○少年教育・交流事業:

- ・稲城市交流: 大空高校は、氷川町との交流はあるが、今後は稲城市との交流も深めたい。【大辻委員】
- ・ふれ愛スタディ: 2月の事業報告会での子供たちの感想を受け、事業の継続を希望。次年度は保護者や地域社会との連携強化を期待。【大井委員長】

○学校教育と社会教育の連携:

- ・小中一貫教育の開始や部活動の地域移行など、学校教育の転換期において、体育活動やデジタル学習の現状を共有し、連携を深めることで、より充実した取り組みを目指す。【大西委員】

○部活動の地域クラブ化:

- ・競技志向が強まり、楽しむ目的の生徒が参加しにくくなる懸念や、活動をやめざるを得ない生徒がいるとの声があり、関係者間の意見交換が必要。【旭委員】
- ・人口減少を踏まえ、近隣自治体との広域連携や、外部指導員招聘による小中高一貫指導体制の構築も検討すべきとの

意見が出た。【大辻委員】

○生涯学習事業:

- ・町民大学講座: 令和7年度は「大空検定」に注力するため休止。クイズやスタンプラリー形式で活動。
- ・事業の狙いと乖離: 生涯学習事業の「LED ランタンづくり」が「情報活用」という狙いと合致しているか疑問が呈され、今後は生涯学習奨励員協議会で事業内容を検討していく。【竹内大委員】
- ・青少年文化劇場: 補助金等を活用し、劇団四季「こころの劇場」など無償で実施できる事業にシフトしていく方針。

○図書館活動:

- ・親子でのコミュニケーションを促す事業などを研修会と連携して実施。
- ・電子書籍は来館できない人には便利だが、高齢者には利用が難しいという一長一短があり、今後の方向性を検討していく。

○文化団体協議会:

- ・会員の高齢化が進む中、新規3団体が加入し活性化。伝統文化と現代文化の共存を目指す。【後藤委員】

○文化財の整理・移転:

- ・町内3施設の郷土資料約2000点を有識者の意見を踏まえ整理・集約し、新センターでの展示・保管方法を検討中。

○放課後等デイサービスとの連携:

- ・現状直接の連携はないが、将来的に女満別研修会館の更新に合わせて複合施設に入る可能性があり、その際の連携が見込まれる。

⑤ 令和8年度オホーツク管内社会教育振興セミナー（案）について

歌丸参事、松本主事説明

○現在の北海道内の研修内容の傾向

・全道の委員長研

「共生社会の実現を目指す社会教育の在り方～地域コミュニティにおける多文化 共生と社会教育委員の役割」が研究主題となっており、地域社会の国際化、外国人は欠かせない存在となる一方、地域住民とのトラブルがあったり、多文化共生の考え方は、地域社会の持続的な発展のためには、社会教育は重要という観点で研修を開催

・全道研修

地域コミュニティの希薄化やグローバル化について触れ、社会教育による「学び」を通じて、地域住民の「つながり」や「かかわり」を作り出すことが必要との内容

・オホーツク管内研修

「地域づくり」「つながりづくり」がキーワード

・北見網走ブロック研修

「外国人住民と地域社会の共生」をテーマとして開催

○今後の社会教育の在り方

- ・誰一人取り残すことなく学習機会を提供する「社会的包摂の実現」（貧困の状況にある子供、外国人、高齢者）
- ・共生社会の理解を促進し、「多様な障がい者に対応した生涯学習の推進」

社会教育推進施策として明確に位置付けることとなっていないながらもなっていないのが大空町の現状

以下松本主事より

- ・背景: 大空町が当番町として開催。「共生社会の実現」や「社会的包摂」が全国的なテーマとなっている。
- ・大空町の強みと弱み:
強み: オリンピアン事業、モルックを基盤としたインクルーシブスポーツの展開。
- ・弱み: 障害者や外国人など多様な人々に対応した事業が不十

| | |
|--|--|
| | <p>分。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容案: 強みを活かし弱みを克服するテーマとして、①モルックと多文化共生、②オリンピック（パラリンピアン）事業と障害者支援、の2案を検討。他自治体から具体的なアイデアを得て、セミナー後の事業に活かすことを目指す。 ・開催概要（予定）: 9月中旬～下旬の土曜日に、講演とグループ協議（体験も検討）形式で実施。 <p>お知らせ事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女満別図書館の開館時間変更: 令和8年4月1日から、夜間利用者の減少と司書の適正配置のため、平日の閉館時間を18時に変更。 ・モルック国際交流会: 3月22日(日)13時30分より開催。 ・演劇ワークショップ成果公演: 3月22日(日)15時30分より開催。 |
|--|--|